

川場スキー 山行報告

【行動日】 2020.3/15(日)

【参加者】 CL 柘植 (記録)、杉山

【行程】 松戸 4:50⇒7:40 川場スキー場 8:00~13:30 ゲレンデスキー ⇒ 16:50 松戸

今シーズン最後のスキーは天候の都合で日曜日帰りとなった。もうシーズン終盤で寡雪の今年はすでに営業を終えたスキー場も多い。まだ営業しているスキー場のなかから、リフト券割引の利くスキー場ということで上州武尊山系の川場スキー場を選んだ。十分に早く千葉を出発したので、川場スキー場には7時40分ごろに到着。立体駐車場にクルマを収めてリフト券売り場に行くと登山者もずいぶん多い。そういえばここは現在は沖武尊登頂の表玄関だ。現在はココヘリ携帯が必須となっており、それを知らない登山者が戸惑っていたりしたが、嚴重なチェックはありがたいと思わないといけないのかもしれない。



川場スキー場は上図のごとくそんなに大きなゲレンデではないので、一通り滑るのにそれほど時間がかかるわけではない。しばらくは杉山さんと一緒に滑っていたが、柘植は上級コースにチャレンジしてみたいので、一人で出かけてみる。上級コースは4本あるが、結果は1勝2敗。2敗のコース⑤と⑩は全体は未圧雪だがコブが大きいいうえにコブ斜面はガリガリ、何度も転んでようやく降りましたという状況。番外の1コース⑥はさらに傾斜も強く、見ただけで分不相応ということが分かるのでチャレンジもあきらめた。1勝のコース⑧は傾斜はあるが緩やかなコブで雪も柔らかく、実力の範囲内。あとで杉山さんも誘って充実の1本となった。

最長リフトの終点は川場剣ヶ峰山のすぐ下。3年前にやはり今日と同様に好天のなか沖武尊を往復したときのことを思い出す。でも時計を見るともう11時なのに、まだこれから登り始める登山者がいる。いくら短時間で往復できるといっても少し遅すぎるのではないかと思ったが、帰ってから自分の記録を見ると似たような時間に登っていたので、少し反省。

いつもと違って同じコースを何度も滑ったが、展望もよく雪質もよいので飽きることなく滑れた。ただ開始後5時間もすぎるといい加減足の筋肉が張ってきたので、杉山さんと相談して13:30くらいに切り上げた。これで今年度企画の全5回のスキーはすべて終了。個人的には進歩があったようななかったような微妙な感じだが、もう立派な高年齢者の範疇なので楽しく滑ればいいか・・・ということで、そ

ういう観点では満足のシーズンでした。

山行記録 : 柘植秀樹



立体駐車場は便利



⑧リフトから眺める左⑩下部と中央は⑥と⑤



⑨リフトトップから谷川方面の山々

山



⑩リフトトップから見上げる川場剣ヶ峰



④コース上部から滑降開始の杉山さん



①コース下部で最後の滑りの杉山さん